

モーツァルト室内管弦楽団 第179回定期演奏会

〈ベートーヴェン・シリーズ〉第7回(最終回)



《ソプラノ》
西垣千賀子



《アルト》
福嶋あかね



《テノール》
西垣俊朗



《バリトン》
田中 勉



《指揮》
門 良一

ベートーヴェン

序曲《レオノーレ》第3番 作品72b

交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付き」

《合唱》モーツァルト記念合唱団
(合唱指揮: 益子 務)



L.v. Beethoven

2017.

※開演10分前より指揮者によるプレトーク有

12/3(日) いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料: 一般 ¥5,000(指定席)/学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

主催◆NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆関西音楽人クラブ/大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com
〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>



前売
大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:327-668)
ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:57167)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。

モーツァルト室内管弦楽団 はじめての《第九》！

〈ベートーヴェン・シリーズ〉最終回

2011年に始まった門 良一指揮／モーツァルト室内管弦楽団による〈ベートーヴェン・シリーズ〉は全7回の最終回を迎える。演目はベートーヴェンの最高傑作であるとともに、今や人類の宝とも言える《第九交響曲》である。実はモーツァルト室内管弦楽団にとって《第九》の演奏は楽団結成以来はじめての挑戦なのだ。モーツァルトとハイドンを演奏させたら並ぶものがない門 良一／モーツァルト室内管弦楽団が、モーツァルトとハイドンの後継者としてのベートーヴェンの新しいスタイルを探求し続けた〈ベートーヴェン・シリーズ〉、その最終結論としての《第九》演奏がどんなものになるか、大いなる期待を抱かない人はいないであろう。極上の《第九》の出現、疑いなしである。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、47年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。2017年2月にNPO法人となる。

モーツァルト記念合唱団 *Mozart Choral Ensemble*

1991年にモーツァルト室内管弦楽団の要請を受け特別編成された合唱団。女声は若手プロを中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パートリーダーに参加を要請、1991年7月に益子務氏の指揮のもと発足、同年12月モーツァルト没後200年を記念してモーツァルト室内管弦楽団第48回定期演奏会でモーツァルトの「レクイエム」を協演後、毎年協演を重ねる。93年初の単独自主公演でジャニーヌ・ワグナー氏を客演指揮者に迎え、「ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート」を開催。98、2000年ベルギー・フランドル政府の招きで文化交流使節として2度にわたりベルギー演奏旅行を行い、ブリュッセルのサン・ミッシェル大聖堂での演奏、FM-3での放送などで大成功を取めた。2000年設立10周年記念にCD「ロッセーニ小荘厳ミサ」をリリース。2010年には神戸で行われた日本音楽療法学会での大会長公演、2011年モーツァルト室内管弦楽団との合唱団創立20周年記念コンサートに引き続き、2012年には合唱団の自主公演として20年の歩みを記念したコンサートをいずみホールで開催。今年25周年を迎えるにあたり、「日本―ベルギー国交樹立150年記念」コンサートを開催後、「ベルギー―日本国交樹立150周年行事」としてベルギー、アールステ市(聖マルティヌス教会)、ゲント市(聖バーフス大聖堂)にてクリスマス大ミサを演奏旅行。